



「幸せって何だっけ？」

～「たくましさ」と「しなやかさ」をもつ四つ葉のクローバーから考える～

校長 吉満ふくみ



二月に入り節分、立春を過ぎたと思っていましたら、あっという間に春の訪れを感じる頃になりました。旧安城中学校グラウンドの桜の綺麗さに見とれていますと、「ホーホケキョ。」とこれまた可愛らしいウグイスの鳴き声が聞こえてきて、心がほっこりするとともに、学校の一年間が経つ速さを感じている今日この頃です。

先日十日に開催された本校学習発表会には、保護者の皆様だけでなく、校区長様をはじめとした多くの校区の皆様にご来校いただき、子供たちが一年間の学習で得た成果を発表したことに対して、たくさんのお褒めの言葉や労いの言葉をいただきました。改めて感謝申し上げます。



【春を知らせる桜】

さて、二月に入る頃ぐらいから、朝登校してくる何人かの子供たちが、正門下の草むらのところで何かを探していたので「何を探しているの？」と聞いたところ、「四つ葉のクローバーです。校長先生、見てください。今日は五つも見つけました。」と、手のひらに集めたクローバーを大事そうに見せてくれました。四つ葉のクローバー探しは、私も小さな頃、家の近くの原っぱで友達と探していたなあと思い出すとともに、何とも微笑ましく穏やかな光景だなと私の心を癒してくれています。

クローバーの葉は、通常は三枚ですが、時々四枚葉のクローバーが見つかります。めずらしいので、見つかるのととても嬉しくなって「見つけたよ!」と誰かに見せたくくなりますよね。四つ葉のクローバーは、世界中でラッキーシンボルです。気になって、いろいろ調べてみたところ、元々は、繁殖力の強い植物ゆえに、活力のシンボルとされていて、ドイツには「緑のクローバー以上に褒める」という慣用句があるほどだそうです。これは「相手をクローバー以上の強い生命力があると認める」から変化し、現在では「褒めちぎる、褒め称える」という意味で使用されています。そして、四葉一枚一枚には、幸せな意味があり、日本では「希望、幸福、愛情、健康」、アメリカでは「愛、名声、健康、富」を意味するそうです。四つ葉のもつ幸福感の意味にも、日本の国民性が表れているなと感じたところです。



ところで、なかなか見つからない四つ葉のクローバーですが、四つ葉が生まれる要因には二つあるということを知りました。一つは「環境要因」で、クローバーが育成中に人や車に踏まれるなどして、葉のもととなる原基に傷がつくことで葉が増えるというもの。踏まれたり傷つけられたりすると、クローバーはその傷を治そうとして、たくさんの栄養を出すのだそうです。そのたくさんの栄養で、踏まれて二つに分かれてしまった赤ちゃんの葉が、それぞれ大きな葉に育つのだそうです。こうして四つ葉のクローバーになります。その傷を治そうとする力で四つ葉のクローバーができるなんて、まさに「たくましさ」を感じます。もう一つは、「遺伝要因」で、突然変異として種子の時点で「このクローバーは四つ葉になります!」と決まっている個体がたまに生まれるというもの。決まっていたことにはとられない四つ葉の「しなやかさ」が、人に愛されるシンボルになるなんて生き物のもつ力ってすごいですね。そんな風に生まれた四つ葉のクローバーだから、運よく見付けられると、そのすごい力のお裾分けをいただき、幸せな気持ちになれるのかもしれない。毎日の生活の中で、うまくいかないことがあって落ち込んでしまったり、元気をなくして悩んだりして、心がちょっと痛くなることもある人生。子供たちには、そのような時に、これ乗り越えることができた時に、きっとクローバーの四枚目の葉のように、新しい何か生まれると信じて、自分の力で何とか切り拓いていく経験を積み重ねさせたいです。そのことが「ひとりだち」できる生きる力となり、次の一步を踏み出し、新しい幸せをつかめる力にもなると思っています。

【3月8日は「国際女性デー」】「国際女性デー」は、女性の地位向上、女性差別の払拭等を目指す国際的な連帯と統一行動の日。最近では、シンボルとなる花の名前を使い「ミモザの日」とも言われます。